

平成29年第2回栗原市教育委員会定例会会議録

1. 招集日時 平成29年2月15日(水) 午後4時00分

2. 招集場所 金成庁舎 201会議室

3. 出席委員

1番	笠間 八十公 委員	2番	佐々木 一彦 委員
3番	亀井 芳光 委員	4番	白鳥 正文 委員

4. 説明のため出席した者

部長	佐藤 義郎
次長	鹿野 有三
次長	小野寺 一浩
教育総務課長	白鳥 嘉浩
学校教育課長	加藤 栄悦
学校教育課副参事	高橋 伸
社会教育課長	菅原 良昭
文化財保護課長	高橋 久悦
教育研究センター副参事	古山 明宏

5. 本委員会の書記は次のとおりである

教育総務課長補佐 白鳥 明美

6. 開 会

午後4時00分

教育総務課長 ただいまから平成29年第2回栗原市教育委員会定例会を開会いたします。

一同礼。 御着席願います。

本日は、千葉委員が欠席で委員4名の出席でございます。それでは開会の挨拶を教育委員長よりいただき、その後、教育委員長の進行のもとに進めていただきますので、よろしく願います。

7. あいさつ

佐々木委員長

18日は二十四節気の「雨水」です。先週は、伊豆沼周辺で白鳥や雁の北帰行が確認されたというニュースがありました。三寒四温の今の時期は、温度変化が大きくなりますので、体調管理に気を付けて過ごしていきたいものです。

先週末は安倍首相の訪米がありました。自国第1主義を掲げるアメリカの新大統領の言動は、世界全体に大きな波紋を投げかけています。連日の報道は、経済や外交政策等が中心で、教育の報道は少なく、教育長官人事の承認の採決が50対50と割れる異例の結果となったと伝えられた位でしょうか。この新長官は、地域や教員、保護者等が自主運営する公立学校、チャータースクールの推進論者で、私立学校授業料を援助するバウチャー制度の拡充等を唱えている方だそうです。

新大統領の教育観や教育政策はまだあまり報道されませんが、大統領選の終盤に表明した「1

00日計画」の中では、教育格差を無くすために貧困層の幼稚園就学を直接支援することや、育児費用を税控除すること、公立や私立、宗教、ホームスクール等学校を選択する権利を付与することなどの政策が掲げられています。

アメリカと日本ということで振り返れば、日本は戦後、アメリカに追いつき追い越せで社会再建の道を歩み、多くの分野でアメリカから多くの影響を受け、後追いを続けてきました。教育も例外ではありません。更に遡れば、日本の公教育は、近代国家の担い手となる人材育成を課題とし、欧米の実用の学問を教育内容としてスタートしました。

一方、現在のアメリカの教育の様子についてはあまり知られていませんが、日本人のアメリカの教育に対する印象として、生徒の活発な議論が見られる授業とか、生徒が十分に考えたり互いに質問し合ったりできる雰囲気のある授業等、好意的なイメージをもつ人も少なくないようです。

そのような中で、昨年8月に出版された1冊の書籍が、関係者の注目を集めています。それは、現在のアメリカの教育の現実、危機的な側面が露呈し、多くの課題が噴出していると主張する「崩壊するアメリカの公教育」という本です。

著者は、神奈川県生まれで、アメリカに憧れて育ち、16歳で留学。アメリカの高校を卒業し、大学、大学院で教育学を学びました。そして、日本に帰国して6年間、千葉県の公立中学の英語教師を務めた後、再び渡米した教育学研究者で、今は、2人の子どもをマンハッタンの低所得世帯の子ども達が通う公立校に通わせているそうです。

筆者は、そのような経歴、体験の中で、これまではずっとアメリカの自由と迫害や保守と革新、他文化への寛容と迫害等の矛盾に戸惑いながらも魅了されてきたけれども、今やアメリカは、経済格差が拡大し、社会的弱者が切り捨てられ、もはや、自由と平等の建国の理念とは反対の方向に向かっていると断言しています。

そして、アメリカの教育の現況として、本文の言葉そのままですが、「教育の市場化、企業のための教育改革、市場型学校選択制の導入による公教育の喪失、発展途上国からの教員輸入と使い捨て、PISAと教育の数値化や商品化、アメリカのゼロ・トレランスと教育の特権化等、混乱の様相や理念の喪失の事例を多く紹介しています。

最後まで読んで、よく見えてこない所や理解しきれない所もありましたが、全体的には、先ず驚きました。そして、本当にそこまでいっているのかとも思いました。同時に、そのような状況が続くのであれば大変なことで、それに対する怖さや危機感を覚えました。

日本には、独自の風土性や国民性、歴史があり、いかにアメリカから多くの影響を受けているといっても、日本の公教育が、今後、アメリカと同じような道を辿るとは思いません。また、思いたくもありません。しかし、既に日本でも、アメリカと同様の方向や近い状況がみられるのも事実です。アメリカの教育の光と影、特に影の部分のこのような状況を日本の今後の公教育への警告としてしっかりと受け止めなければならないと感じた次第です。

教育委員の方々、教育部の皆さんには、年度終盤の多様な時期を迎えてご苦勞様でございます。築館小学校閉校式は今週の土曜日です。また、幼稚園、小中学校の卒園・卒業式も日程に入ってきました。それぞれの儀式、式典への対応についてもどうぞよろしく願いいたします。

本日のご審議よろしく願いいたします。

8. 前回教育委員会会議録の承認

佐々木委員長 それでは、日程1、前回教育委員会会議録の承認について、お諮りします。事務局に内容の

説明を求めます。

事務局 平成29年1月18日、本会場において開催されました平成29年第1回栗原市教育委員会定例会でございますが、ご審議いただいた議案は「議案第1号 平成29年度栗原市教育基本方針について」を含む3議案でございますが、議案第1号は継続審議、他の2議案は承認可決されました。

以上でございます。

佐々木委員長 説明が終わりました。この内容について、ご質問等はございませんか。

「なし」の声あり

佐々木委員長 ご異議なしと認め、前回教育委員会会議録は説明のとおり承認することとします。

9. 教育委員会会議録署名委員の指名

佐々木委員長 日程2、教育委員会会議録署名委員の指名を行います。

例により議長から指名します。

3番の亀井委員と4番の白鳥委員をお願いいたします。

10. 教育長報告

佐々木委員長 日程3、教育長報告を行います。

教育長から報告をお願いします。

亀井教育長 それでは、一般事務報告をさせていただきます。

まずもって、新聞報道されましたUSBメモリーの紛失の件でございますが、常日頃より情報管理に徹底を図るように指示をしているところでありますが、このような事件が発生しましたこと、お詫び申し上げますとともに、今後かかるようなことがないように徹底していきたいと思っております。誠に申し訳ございませんでした。

資料に基づきお話しさせていただきます。まず、1月18日以降の事業については資料1のとおりであります。その中で、平成29年度教育基本方針について先月協議していただきましたが、本日、最終案の協議をよろしくお願いいたします。その方針を、3月22日に予定しております総合教育会議でまたお示ししたいと思っております。

次に、B&G（日本財団）全国サミットが1月24日にありました。昨年度まで栗原市はA評価でしたが、ランクが一つ下がりました。B&Gの施設を改修する際の補助が評価によって異なるということで、栗原市はB評価なので、通常の修繕については補助対象にならないということでもあります。ただ、特別施設整備として、移設や施設の有効活用を目指した用途変更の改修や災害復旧修繕の場合は、3千万円を限度として補助があります。B&G施設が老朽化していることもありますので、これらの活用も有効かと思っておりますので、委員さん方には是非ご承知していただきたいと思っております。

次に、1月25日に義務教育課長が来所されました。29年度は宮城県の学力・学習状況調査は終了しますが、児童生徒の学習意識調査については継続して実施するということでもあります。それから、新たに、生徒の英語力向上事業として、中学2年生を対象として、英語能力判断テスト（英語IBA）を実施するということでもあります。これらにつきましては、先日の教育委員・教育長研修会の際にお話しがあったところです。それから、部活動における休日の設定ということで、土日から1日、平日1日休むようにということを県教委でガイドラインを作成して、間もなく通知があることと思っております。

次に、今の話ともダブりますが、1月27日に県市町村教育委員会教育委員・教育長研修会がありました。研修は講話が2つあり、講話1「発達障害の特性を踏まえた授業におけるユニバーサル・デザイン」は教育の原点を感じさせる非常によいお話しでした。講話2「コミュニティスクールの推進について」は、地域と学校が一体となったコミュニティスクールの推進というものが学校教育の場でクローズアップされてきています。今日、教育事務所でも29年度から「地域連携担当」というものを校務分掌の中に入れてくださいというようなお願い事項がありました。これまでは協働教育推進というものが校務分掌の中に位置付けられており、その名前を変えて地域連携担当としてもいいのですが、そういう形で地域と学校の結び付きをより強くするというような要請が文科省のひとつの方針のようであります。また、県教委からの情報提供として、東日本大震災みやぎ子ども育英基金奨学金、第33次県社会教育委員の会議意見書等が報告されたところであります。

次に、おかやまはじめ凱旋ラップ屋公演「ユー・アー・ミー？」でございますが、832人、ほぼ満席という状態で、すばらしい公演でございました。同級生実行委員会の結束の力を改めて感じたところであります。おかやまさんも大変喜ばれて帰られたことを報告したいと思います。

次に、児童・生徒及び教職員の状況でございますが、いじめや不登校等の状況は、生徒指導だより1月号をご覧くださいと思います。依然といたしまして不登校児童生徒が多いなどという状況でございますし、いじめも新規の認知件数があるようです。いじめの根絶、不登校の解消ということで、これからも校長会等関係機関と連携を取りながら、防止に努めていきたいと思っております。事故関係では、体育の時間の跳び箱やドッチボールでの骨折があり、やはり寒い時期ですので、準備運動をさせる等十分気を付けるよう指示してまいりたいと思っております。それから、インフルエンザ等感染での学級閉鎖・学年閉鎖状況は資料3がありますのでご覧ください。今日新たに学級閉鎖になった学校もあるようです。

教職員につきましては、大きな事故等はございません。人事関係につきましては、本日、最終のブロック会議がございました。市費負担教員の任用につきましては、継続、新規含めて7人でございます。今年度は8人でしたので、1人減ということになります。

29年度の入園・入学予定者数は記載のとおりでございますが、年々減少している状況です。それから、市内における就学すべき学校の指定変更ですが、現時点では家庭事情や部活動等の事情で58人になります。市内小学生の地区外中学校への進学予定は、現時点では17人ということで押さえております。

次に、学力向上に向けてであります。市指定の学力向上指定校事業は29年度から2年間に渡って、学校を3つの班に分けて実施していく予定であります。その他の指定校事業や市内における研究大会等は記載のとおりであります。また、市の教育研究センターの充実ということで、数学担当の特任教授が1名増員となりまして、力を入れていくこととなります。ほかに、先進地である秋田県大仙市に教員を派遣しまして、1週間程度勉強してくるという事業を来年度計画しております。それから、学府くりはら「教育講演会」ですが、今年度は栗原文化会館で川島隆太先生をお迎えして行ったところですが、来年度は、その時期だと栗原文化会館の改修工事が入っておりますので、会場変更、参加者数、開催時期等を市PTA連合会と協議しているところでございますが、市PTA連合会と共催でやっていきたいと思っております。

次に、県立高等学校入学選抜ですが、前期試験が2月1日に行われ、9日に合格発表があり

ました。市内の中学校の状況ですが、受験者数が205人に対し、合格者数が186人、その内、市内高校が146人のようであります。後期選抜は3月8日で、市内高校の募集定員が560人に対し受験者数は503人、ここから前期合格者が抜けるという状況であります。

次に、定例議会が昨日始まりまして、3月8日までの予定であります。教育関係につきまして一般質問が何件かきておりますが、今日の午後5時が締切となります。

次に、学校再編に向けて、築館小学校、玉沢小学校の閉校式は記載のとおりでありますので、委員さん方よろしくお願ひいたします。瀬峰中学校、高清水中学校の再編に向けては、地域に説明に入った際に小学校への説明も必要ではないかということになり、改めまして小学校保護者への説明会を実施いたしました。こちらの進め方の順番が間違ったかと反省しているところでございます。その中で、瀬峰小学校からは2月1日付けで再編に関する質問書の提出がありました。高清水小学校は、前にも行いましたが、さらに、3月2日に改めまして意見交換会を予定しております。

次に、修了式、卒業式のシーズンに入ります。3月11日は「みやぎ鎮魂の日」ですが、3中学校・1幼稚園でその日に実施するようでございます。その他につきましては、資料がございますので、ご覧いただきたいと思ひます。

その他といたしましては、記載のとおりですが、学校給食センター運営審議会が2月7日に行われました。今年度と同じ給食費にすること等話し合われたようであります。市奨学生選考委員会は3月15日に行われます。林修氏の早春セミナーは3月18日です。それから、児童生徒の活躍として、読書感想文や作文でご覧のようにがんばっているということをお伝えしたいと思ひます。

何れにいたしましても、今年度残された期間まとめをしっかりとするとともに、新たな気持ちで新年度を迎えたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

私からは以上でございます。

佐々木委員長
白鳥委員

只今の一般事務報告についてのご質問はございませんか。

不登校の件ですが、表を見ると小学校は女子が多いようです。その辺の内容と、以前に家庭の方針で学校に行かせないというケースがあったと思ひますが、改善があったかどうか、分かれば回答をお願いします。

学校教育課長
白鳥委員
学校教育課長

女子が多いという要因は、特にこちらでは掴んでいないところでございます。

学校としては何校かに分散されているのですか。

そうです。それから、以前お話ししたケースにつきましては、中学校、児童相談所、子育て支援課等、関係機関とケース会議を行っているところでございますが、改善には至っておりません。

高橋副参事

その後、課長がお話ししたとおりケース会議等開催しましたし、今月に入ってから子育て支援課で家庭訪問しましたが、姿を確認するところまでいきませんでした。教育委員会としても、家庭訪問等をして進めていきたいと思ひますし、その後またケース会議を開き、子育て支援課と連携を図りながら対応を決めていくこととなります。

佐々木委員長

他に質問ございますか。

「なし」の声あり

佐々木委員長

ないようですので、日程3、教育長報告を終わります。

11. 専決処分報告

佐々木委員長

日程4、専決処分報告（1）平成29年第1回栗原市議会定例会に提案する教育関係議案に対する意見について、を上程します。内容の説明を求めます。教育総務課長。

教育総務課長

議案書1ページをお開き願います。平成29年第1回栗原市議会定例会に提案する教育関係議案に対する意見について、意義がない旨専決処分したものです。

資料1 専決処分報告説明資料（1）①をご覧ください。議案につきましては、「議案第1号平成28年度栗原市一般会計補正予算（第4号）」、「議案第13号平成29年度栗原市一般会計予算」、「議案第31号栗原市保育料徴収条例及び栗原市立幼稚園授業料等徴収条例の一部を改正する条例について」、「議案第38号栗原市体育施設条例の一部を改正する条例について」、「議案第39号栗原市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例について」でございます。

最初に、議案第1号平成28年度栗原市一般会計補正予算（第4号）については、資料2専決処分報告説明資料（1）②をご覧ください。この件につきましては、各施設の管理費や各種事業の実績に基づき、各種補助金や経費を精査し、既定予算との差額を補正するものであります。詳細につきましては資料をご覧ください、ここでの説明は省略いたします。

次に、議案第13号平成29年度栗原市一般会計予算について説明します。資料3、専決処分報告説明資料（1）③をご覧ください。平成29年度予算は、任期満了に伴う市長の改選の年でありますことから、骨格予算となっておりますので、特に大きな事業のみをご説明いたします。1ページから11ページまでは、第二次総合計画に基づき、主な事業を掲載しております。新規のもの、拡充したものについてご説明いたします。4ページをご覧ください。放課後健全育成事業で放課後児童クラブの土曜日実施があります。5ページをご覧ください。新規事業で、学力向上のための緊急プロジェクトに取り組みます。また、拡充事業として、教育研究センター運営事業で特任教授1名増の任用を行います。6ページをご覧ください。築館多目的競技場整備事業で、管理棟、観客席、照明の整備を行います。歳出予算は、教育費として56億4千716万円を計上しております。詳細につきましては、33ページ以降になります。48ページをご覧ください。幼稚園費の工事請負費については、瀬峰地区の園舎建設工事6億8千915万円を計上しております。54ページをご覧ください。栗原文化会館舞台機構改修工事で2億5千504万円を計上しております。57ページをご覧ください。築館多目的競技場整備工事で4億3千484万円を計上しております。以上概要をご説明いたしました。

再度、資料1の18ページをご覧ください。議案第31号、栗原市保育料徴収条例及び栗原市立幼稚園授業料等徴収条例の一部を改正する条例について説明いたします。この件につきましては、児童福祉法の一部改正により、「情緒障害児短期治療施設」を「児童心理治療施設」に改めるものです。

20ページをご覧ください。議案第38号、栗原市体育施設条例の一部を改正する条例について説明いたします。この件につきましては、鶯沢体育館を旧鶯沢中学校体育館に移転することに伴い、所在地を改めるとともに、利用料金の改定を行うものです。

22ページをご覧ください。議案第39号、栗原市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例について説明いたします。この件につきましては、放課後児童クラブの利用を土曜日まで拡大することに伴い、利用料金を定めるものです。

以上、平成29年第1回栗原市議会定例会に提案しました教育関係議案の説明を終わらせていただきます。

佐々木委員長

説明が終わりました。ご質問ありますか。

白鳥委員 資料2の1ページ、補正予算の概要の中で、学校給食費負担金の歳入が減額になっていますが、これは次ページの給食センター管理運営費の歳出の賄材料費の減額と関連しているのでしょうか。どうしてこんな大きな額になるのでしょうか。

学校教育課長 預かり保育におきまして、従来土曜日や夏休み期間中は給食の提供を行っていませんでしたが、28年度から提供することとし、当初予算編成時には最大の枠で見込んでおります。それを精査した結果減額となったものでございます。それと関連しまして、賄材料費においても配食数の減によって減額するものでございます。

佐々木委員長 ほかにございせんか。

白鳥委員 資料1の23ページ、放課後児童クラブの利用料金ですが、今後、児童数も減ってくる、子育て支援を充実していくという考えのもと、将来的には無料化という考えはないのでしょうか。

社会教育課長 市の考えとしては、ある程度の利用料をいただくということで、現在のところ無料化は考えておりません。

亀井教育長 ただ今の件につきましては、議会などでも、給食をタダにしたらいいのではないかな等様々な意見が出てきているのも事実であります。給食費につきましては、材料費だけいただいて、その他の経費は全て市で負担しておりますし、就学援助や生活保護、多子減免等の制度もありますので、現時点では現状維持していきたいと思っております。ただ、そのような意見もあることは認識しておきたいと思います。

佐々木委員長 ほかにございますか。

「なし」の声あり

佐々木委員長 それでは、専決処分報告を終わります。

12. 議事

佐々木委員長 日程5、議案第1号、平成29年度栗原市教育基本方針についてを上程します。内容の説明を求めます。教育総務課長。

教育総務課長 議案書1ページをお開き願います。議案第1号 平成29年度栗原市教育基本方針についてご説明いたします。

この件につきましては、前回1月の定例教育委員会でご審議・ご指摘をいただき、再度、内部で協議し、改正した部分について改めてお諮りするものでございます。資料4に基づいて、各課から説明申し上げます。

学校教育課長 「学府くりはら」の学校教育に関わる部分につきまして、先月の教育委員会定例会におきまして、委員各位からいただいたご意見に基づきまして修正した点につきましてご説明いたします。

最初に、3ページをご覧ください。「2 学力向上を図るための学習指導法等の工夫・改善及び学習規律・学習習慣の形成」の⑤ですが、「県学習意識調査」を追加してございます。この件につきましては、これまで行ってきた宮城県学力・学習状況調査に代わり、平成29年度からの県の事業として、学習意識調査を実施する予定であることから、その内容について追加したものです。また、⑩につきましては、「部活動の適正化」と表記しておりましたが、部活動のほかにスポーツ少年団等の活動も付け加えるべきではないかというご意見を頂戴したことから、「部活動等」としたものであります。

次に、「4 いじめを許さない学校づくりの推進」の③は、Q-U調査を活用した学級づくりについての内容ですが、「やる気のある学級づくり」と記載していたところを、より分かりやす

い具体的な表現にするべきというご意見を頂戴したところでありますので、「人間関係づくりや学級活動への意欲、学びや進路選択・実現の意欲に満ちた学級づくり」と改めたものであります。

次に、「5 一人一人を大切にし、豊かな心を育むための道徳教育及び生徒指導、特別教育の推進」の⑤、⑦、⑧について、表記が分かりにくい、主語がないというようなご意見がありましたので、それぞれの主語を加えたものであります。それから、⑦については、「子ども」を「児童生徒」に改めたものであります。

続いて、7ページ、8ページの学校教育の体系になりますが、ただいま申し上げた内容を改め、青書きで修正したものであります。新たに追加した部分については、「4 いじめを許さない学校づくりの推進」の中に、「命を大切にする教育の推進」を、いじめ問題調査対策委員会からのご意見を受けまして、平成29年度の推進事業として追記したものでございます。それから、「6 健やかな身体を培う体育・健康教育の充実」の中に「教職員の健康の維持増進のための対策の推進」を追記したものでございます。

学校教育関係については以上でございます。

社会教育課長

社会教育関係について説明いたします。資料の6ページの「6 スポーツ活動の支援・社会体育事業や施設の充実」の②でございますが、「スポーツ指導者の育成」としておりましたが、指導も必要だというご意見がございましたので、「指導」を追記しました。さらに、9ページの体系図も同様に修正しました。また、関連する事業等の欄、青少年期の活動支援の中に、これまでも行っておりましたが、「栗原グリーンパスポート事業」「くりはらの財(たから)人づくり共育事業」を改めて記載させていただいております。

社会教育関係につきましては、以上でございます。

佐々木委員長

説明が終わりました。ご質問はございませんか。

白鳥委員

中身についてはいいと思いますが、前回1月の定例会の際に委員長さんがあいさつの中で学力についての考え方を示したわけですが、それは大切なことで、学校教育の中では「知・徳・体」のバランスの取れた学校教育、その中の学力と言った時には、やはりPISAが求める世界標準の学力、国が推進している学力、それがあるのだということを、教育委員会、先生方、保護者の方々が共通認識を持つことが大切だと思いますので、この中に何らかの分かるような考え方を示すのもいいのではないかと考えていますし、もし今回入れられないのであれば、今後説明会の中でもそういった共通認識を持ってもらうような説明をしていくことが大切ではないかと考えましたので、一言意見を申し上げさせていただきます。

佐々木委員長

答弁はありますか。

学校教育課長

この学校教育の目標の中に「子どもたちの確かな学力の育成」があります。これの共通認識ということでございますが、各学校におきましてはこの教育方針に基づきまして、各学校で教育計画を作っていきますし、それに基づいて、ご家庭の保護者の皆様にも説明を行うところでもありますので、そういった機会を通じて共通認識を図ってまいりたいと思います。

白鳥委員

やはりそういう説明をしないと「学力」といっても様々な考え方がありますので、これからきちんと推進していくことが大切だと思いますので、よろしくお願ひします。

佐々木委員長

他にございますか。

「なし」の声あり

佐々木委員長

それでは、原案のとおり承認してよろしいですか。

「異議なし」の声あり

佐々木委員長 それでは原案のとおり承認することといたします。

佐々木委員長 お諮りします。日程6、議案第4号、平成28年度就学指導を要する児童生徒について、日程7、議案第5号、要保護及び準要保護児童生徒の認定について、日程8、議案第6号、栗原市立学校の職員の人事についての3件は個人情報及び人事案件でございますので、秘密会としてよろしいですか。

「異議なし」の声あり

佐々木委員長 ご異議なしと認め、日程6から日程8までを秘密会とします。

ここで、関係職員以外の退席のため暫時休憩します。

13. その他

(1) 各課報告

佐々木委員長 本日の日程が終了しましたので、これより各課報告事項に入ります。学校教育課長。

学校教育課長 定例会資料の10ページをご覧ください。平成28年度全国体力・運動能力等調査結果から、市内小学校5年生と中学校2年生の体力・運動能力等調査結果を報告させていただきます。最初に、体力・運動能力に関する調査結果についてでございますが、表の網掛けの部分が、全国または県平均値と比べまして上回っている種目になります。ここでは、全国平均との比較を中心にお話しします。小学校5年生の男子では、全国平均を上回っているのは、「握力」「長座体前屈」「ソフトボール投げ」の3種類でございます。女子では、「上体起こし」と「50メートル走」を除く6種目と「総合評価」が上回ってございます。男女ともに全国平均を下回っている種目は、「上体起こし」「50メートル走」の2種目でございます。これらにつきましては昨年度から引き続いております。今後重点的に取り組んでいかなければならないものでございます。

次に、中学校2年生の男子では、全国平均を上回っているのは、「握力」「長座体前屈」「反復横跳び」「持久走」「20メートルシャトルラン」の5種目と「総合評価」であります。女子では、「握力」「長座体前屈」「反復横跳び」「持久走」の4種目でございます。男女ともに全国平均を下回っている種目は、「上体起こし」「50メートル走」「立ち幅跳び」「ハンドボール投げ」で、これらは小学校同様昨年度から引き続きの課題ということになります。特に、筋・持久力、走力につきましては、小学校と共通する課題でありまして、今後重点的に改善が必要な種目でございます。

続きまして、体格についてお話しいたします。11ページをご覧ください。薄い網掛けの部分が全国または県の平均値を上回っているもの、濃い網掛けの部分が下回っているものでございます。小学校5年生の男子の身長が県の平均値を下回っている以外は、小学校5年生、中学校2年生共、全国及び県の平均値を上回る傾向となっております。肥満傾向児の出現率については、高度肥満から軽度肥満の出現率を比較しますと、小学校5年生では男女とも全国平均の2倍以上の出現率になってございます。昨年度と比較しますと、女子についてはその割合がわずかに減少しておりますが、男子は19.7%から21.8%に増えているところでございます。このことも、体力・運動能力の、走力、持久力の調査結果に影響しているのではないかと推測されるところでございます。中学校2年生は男女共、高度肥満から軽度肥満の出現率の割合が、男子では2%、女子では5%増加しております。

今回の調査結果と共に送付されました学校用の確認シートや調査結果報告書を活用しまして、学校毎に自校の課題を的確に捉え、改善に向けての目標値を明確にするなどして、児童生徒の

体力・運動能力等の対策を適切に講じるよう、学校に対し指導してまいります。以上でございます。

佐々木委員長
社会教育課長

では、次に社会教育課長。

定例会資料12ページをご覧ください。協働教育推進事業として学校支援ボランティア事業実践発表会を、明日16日、午後1時30分から金成庁舎ほたるホールで行います。現在のところ20名程度の出席予定で、内容については、実践発表、講話、参加者との意見交換等になります。

次に、13ページをご覧ください。第10回栗原市写真展についてです。2月25日、土曜日から3月5日、日曜日まで、会場は栗原文化会館になります。入場は無料です。最終日の5日については、第10回を記念して、10時30分から河北新報社編集局写真部カメラマンを講師に講演会を開催します。

次に、14ページをご覧ください。第18回白鳥省吾賞表彰式についてです。2月26日、日曜日、午後1時30分から栗原文化会館2階大研修室で行います。受賞者は一般の部が3編、小・中学生の部が8編、計11編になります。

次に、15ページをご覧ください。若柳総合文化センター自主事業、ドリーム・パル早春セミナーについてです。演題は「いつやるか？今でしょ！」ということで、講師に東進衛星予備校現代文講師の林修氏を迎え行うものでございます。日時は、3月18日、土曜日、開演は午後1時30分、会場は若柳総合文化センターです。入場料金は、大人1,500円、高校生以下1,000円ということで、2月4日から発売を開始しまして、現時点で314枚、約6割弱売れています。お早目にお求めいただければと思います。

社会教育課関係は以上でございます。

佐々木委員長
笠間委員
学校教育課長

各課から報告がありましたが、ご質問ありますか。

体力・運動能力等検査の結果ですが、スクールバスの影響等はありませんか。

継続して持久力、走力等が低いという傾向がありますが、明らかにそれと関係あるかどうか判断は出来ないところでありますが、継続して課題について取り組んでまいります。

白鳥委員

スクールバスとの関連は分からない部分はあると思いますが、肥満の出現率は過去と比べてどうですか。数値的に上がっているのですか。

学校教育課長

資料の11ページをご覧ください。今年の小学校5年生で見ますと、男子は明らかに増加傾向にあります。中学校2年生についても、男女共に増加傾向にあります。

笠間委員

学校の給食メニューにカロリーが書いていますが、おかわりの分は入っていないですね。多目に作っていると思うのですが、自分の摂取カロリーと消費カロリーを考えてコントロールする、そのような教育、指導も必要ではないかと思えます。

高橋副参事

カロリーについて小学校の場合はそこまで詳しく指導はないと思えます。話題は逸れるかもしれませんが、質問紙という検査がありまして、その中で小学校5年生、特に男子が、「体育の授業で学んだことを授業以外でやってみようと思えますか」という問いに対して、「そう思う」や「ややそう思う」という回答であるとか、「あなたが健康でいるために運動を行うことはどれくらい大切だと思いますか」という問いに対して、「大切である」とか「やや大切である」という回答の割合が5%から10%くらい低く、運動することに対するの価値等を十分認識していない状況でした。その他の学年の男女については全国平均を上回っている状況があり、中学校については、男女とも全国平均に比べて同じか、いくらかの結果が出ております。肥満度は若干全国平均より高いですが、土日の運動時間が確保されているので、多く食べることの弊害

もあると思うのですが、その分しっかり動けば、特に中学生は筋肉もついてくるので筋肉の分の重さが体重に反映される面もあるかと思います。一概に体重が多いからと言って運動できないということではないと思われます。ただ小学生については運動に対する価値、そのあたりをきちんと指導していく必要があると考えます。

亀井教育長 食べ物の好き嫌い等が肥満につながるのかなという気はします。例えば、給食で1つずつ配るのはおかわりがありませんし、給食の残量調べをすると、結構残食があります。食事の影響はむしろ家庭内の食事の影響のほうが大きいかもしれません。

笠間委員 学校保健委員会での話題が出た時に、1人当たり何カロリーと出ているのに、多目に量が盛られる、食べて運動すればいいのですが。残ることを考えると多目にしないほうがいいのではないかという話が出ます。体格の差もあるので、その辺難しいとは思いますが、必要な量の把握が大切だという気がします。

白鳥委員 関連してですが、肥満にまつわる病気として、糖尿病や高血糖が子どもにもあるというニュースをたまに見るのですがその辺はどうなのですか。市内で小学生から成人病にかかっている子はいないですか。

学校教育課長 学校健診は毎年年度初めに行っているところですが、特に学校からそういった傾向が見られるといったような状況は聞いていないところでございます。授業の中でも健康管理等については保健体育の中で指導を行っているところです。

高橋副参事 養護教諭が子どもたちをしっかりと把握して、必要に応じて家庭と連絡を取りながら食事のことや、あるいはお医者さんの受診を進めたり、ケアはしているものと思われます。

佐々木委員長 このような意見があるということで把握をお願いします。ほかにございますか。

白鳥委員 早春セミナーの件ですが、販売数が550枚とのことですが、ドリーム・パルの収容人数との兼ね合いはどうですか。

社会教育課長 ドリーム・パルの収容人数は550人で、障害者席を含めれば555人になります。

白鳥委員 わかりました。

佐々木委員長 それでは、各課報告を終了します。

14. 閉会

教育総務課長 以上をもちまして、平成29年第2回栗原市教育委員会定例会を閉会致します。

午後6時00分

15. 本委員会の議決の次第は次のとおりである。

議案第1号 平成29年度栗原市教育基本方針について

議案第4号 平成28年度就学指導を要する児童生徒について

議案第5号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

議案第6号 栗原市立学校の職員の人事について

この会議録は書記が作成したものであるが、その内容の正確なることを証するためここに署名する。

平成29年3月22日

会議録署名委員 _____

〃 _____